

(様式)

兵庫県立がんセンター 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【兵庫県立がんセンターの基本情報】

医療機関名：兵庫県立がんセンター

開設主体：兵庫県

所在地：明石市北王子町13-70

許可病床数：400床

（病床の種別） 一般病床：400床

（病床機能別） 高度急性期： 8床

急性期：392床

稼働病床数：377床

（病床の種別） 一般病床：377床

（病床機能別） 高度急性期： 8床

急性期：369床

診療科目：23科

内科：呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、緩和ケア内科、腫瘍内科

外科：頭頸部外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科

上記以外：精神科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、リハビリテーション科

職員数：

・ 医師：116（正規97、フェロー・専攻医18）

・ 看護職員：409

・ 専門職：92

・ 事務職員：20

・ 技能労務：19

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状 (記載不要)

② 構想区域の現状 (記載不要)

③ 自施設の現状

〔理念〕

科学と信頼に基づいた最良のがん医療を推進します。

〔基本方針〕

1. 都道府県がん診療連携拠点病院として 地域と連携したがん医療を県下の先頭に立って推進します。
2. 患者さんの意思を尊重し、正確な医療情報に基づいた信頼される医療を行います。
3. がん医療の進展を反映した高度先進医療を行います。
4. チーム医療を基本として、暖かい医療を推進します。

〔基本的方向〕

がんセンターは、がんに対する高度で専門的な集学的治療を提供するとともに、都道府県がん診療連携拠点病院として、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院医師等への研修、診療支援等を行うなど、がん医療の全県の拠点的な機能を担っている。

今後も、兵庫県全域におけるがん医療の拠点的な役割を担うこととし、難治性がんや再発がん等他の医療機関で対応困難ながんに対する高度専門医療の提供に必要な診療機能やがん治療に関する臨床研究機能の充実に努める。

なお、施設の建替整備に向けて、がんセンターを取り巻く環境や現在地周辺の埋蔵文化財試掘調査結果を踏まえ、建替整備方針を決定する。

〔沿革〕

- 昭和 37 年 9 月 財団法人兵庫県がんセンター附属病院として開院
〔神戸市生田区楠町〕
- 昭和 46 年 4 月 同附属病院を県立移管し、兵庫県立病院がんセンターとして開院
- 昭和 59 年 5 月 兵庫県立病院がんセンターを廃止し、兵庫県立成人病センターを開設
〔明石市北王子町に移転（東病棟 180 床）〕
- 昭和 62 年 4 月 県立成人病センター第 2 期工事完成
〔西病棟 220 床を加え 400 床に増床〕
- 平成 19 年 1 月 都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受ける
- 平成 19 年 4 月 兵庫県立がんセンターに病院名を変更

④ 自施設の課題

がんセンターを取り巻く環境等を踏まえ、施設の建替整備方針を策定する。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

ア 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割

都道府県がん診療連携拠点病院として、地域医療機関との連携のもと、がんに対する高度で専門的な集学的治療を実施するとともに、がん治療に関する先進的な医療技術の提供を始め、臨床試験の中核的機能を担う。この一環として、バイオバンクやゲノム医療・臨床試験センターを設置し、臨床試験、個別化医療の強化・推進を図る。

イ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

がん診療連携拠点病院及び地域の在宅医療・福祉・介護関係機関との連携を促進（研修実施を含む）するとともに、多職種でのチーム医療を展開する。

また、緩和ケア病棟（病床）を有する医療機関との連携の促進を図り、地域緩和ケア提供体制を構築する。

さらに、がん患者の在宅療養を支える機能（就労支援、相談支援、入院後方支援機能等）の充実を図る。

② 今後持つべき病床機能

今後も、高度急性期～急性期を機能の中核とする。

③ その他見直すべき点

特になし。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	8	→	8
急性期	389		392
回復期			
慢性期			
(合計)	397		400

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	〔施設の建替整備に向けた「がんセンターのあり方」の検討〕		<p>集中的な検討を促進 2年間程度で</p>
2018年度	〔施設の建替整備に向けた「がんセンターのあり方」の検討〕	〔「がんセンターのあり方」検討に係る報告書の作成〕	
2019～2020年度	(以降のスケジュールは未定)		
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<u>医療提供に関する項目</u>	
・ 病床稼働率 :	82.5
・ 手術室稼働率 :	—
・ 紹介率 :	95.9
・ 逆紹介率 :	86.5
	} (医科)
<u>経営に関する項目*</u>	
・ 人件費率 :	
・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用 (職員研修費等) の割合 :	
その他 :	

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)